

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 1 回(仮称)相模原市子育て支援・子どもの権利条例検討委員会				
事務局 (担当課)		健康福祉局 こども育成部 こども青少年課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 8 1 1 (直通)				
開催日時		平成 2 6 年 5 月 2 9 日 (木) 午後 5 時 ~ 7 時				
開催場所		相模原市民会館 4 階 第 3 中会議室				
出席者	委員	9 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人				
	事務局	4 人 (こども育成部長、こども青少年課長、他 2 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 委嘱状交付 2 こども育成部長あいさつ 3 委員自己紹介 4 条例検討委員会の概要 5 委員長、副委員長の選出 6 議 題 (1) 会議の公開について (2) 条例検討委員会の開催について (3) 検討経過について (4) 条例の新規制定について (5) 検討の進め方				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 委嘱状交付

2 こども育成部長あいさつ

3 委員自己紹介

4 条例検討委員会の概要

5 委員長、副委員長の選出

6 議 題

(1) 会議の公開について

検討委員会の公開について、事務局より説明を行った。

(2) 条例検討委員会の開催について

関係者の出席について

オブザーバー協力の関係者、その他の関係者の必要に応じた出席要請について事務局より説明を行った。

開催スケジュールについて

検討委員会の月別開催回数及びパブリックコメント等の市民意見収集の時期について事務局より説明を行った。

(3) 検討経過について

(仮称) 子育て支援・子どもの権利条例制定に向けた検討経過について事務局より説明を行った。

○子どもの権利を考える懇話会での検討はどのように引き継がれたのか。

懇話会の検討を報告書としてまとめ、条例の必要性等の提言をいただいた。

それがきっかけとなり、市として条例は必要であるとして、条例制定に向けて検討を継続してきたが、条例の制定にあたっては、市民意識の醸成が必要であるとして方向転換をし、近年は、子どもの権利条約リーフレットの作成配布やシンポジウムの開催等、市民意識の醸成に努めてきたところである。昨年度の市政に関する世論調査の結果などで、子どもの権利に対する意識の高まりが見られたため、一定の意識醸成が図られたとして、条例の制定に向けて具体的に取組んでいくこととなった。懇話会での検討・取組を継続して進めている。

(4) 条例の新規制定について

法体系や条例制定の流れ、法等の上位関係、条例案で定める内容の参考として他都市条例との比較について事務局より説明を行った。

また、上位関係としての条約の位置づけ及び子どもの権利条約と今回検討する条例との関係について、委員より補足があった。

条例の制定範囲は拡大させつつあり、他市でも個性的な条例があるので、できるだけ相模原の特色を活かした良い条例ができればと思っている。
参考の他都市、札幌市、名古屋市、松本市の3都市を選んだ理由は、札幌市、名古屋市は同じ政令市であることから、また、松本市は、条例の制定時期が比較的新しいことから、参考に比較する対象として適当であると考えたもの。

(5) 検討の進め方

次回以降の検討委員会の進め方、今後の開催日程について事務局より説明を行った。

条例のたたき案は、全文をいただけるのか。

前文を除いて、ある程度の形になったものをお示ししたいと考えている。

各回の協議は、第何回は何条から何条までというように進めるのか、それとも臨機応変にやっていくのか。

全体を見ていただいた中で、章の単位など、ある程度のまとまりで、今回はこの章をというように進めるイメージである。

資料送付について、たたき案は事前に送付いただきたい。ただ、ボリュームによっては次回までに読みこなせないのでは、範囲を良く考えて送付してもらいたい。

確認で、2回目の会議の前に送付されるたたき案は、全文が用意できるか。

前文を除いて全体像をお示ししたいと考えている。

全文をいただいたうえで、このボリュームで何回で協議という交通整理をしていただきたい。また、全体を見ないと各章のバランスやボリューム、整合性は見えてこないのでは、全文でお願いしたい。

(全体を通しての意見・質問)

資料ファイルにあるアンケート調査は、いつ実施したものか。

相模原市子ども・子育て支援に関するアンケート調査は、子ども・子育て支援法に基づいて、来年4月から5年を1期とする子ども・子育て支援事業計画を策定する基礎資料として実施したもの。実施時期は、昨年12月。

集計結果がある程度まとまってきたものを抜粋して資料としたもの。

今後の開催日程は、提示されたとおりで確定ということで良いか。

これで確定させていただき、開催の定数に満たないような場合は調整させていただくということをお願いしたい。

事務局でこの日程で不都合な方の集約をしていただき、変更の必要があれば、次回、変更の日程を提示いただくことにしたい。

各委員に確認させていただく。

以上

(仮称)相模原市子育て支援・子どもの権利条例検討委員会委員
出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	岩城 栄二	横浜弁護士会 弁護士		出席
2	大溝 茂	桜美林大学教授	委員長	出席
3	小川 紳夫	元小山小学校長(退職校長会)		出席
4	森 長秀	日本大学准教授	副委員長	出席
5	遠藤 靖明	公募委員		出席
6	小林 祥子	公募委員		出席
7	下鳥 良礼	相模原人権擁護委員協議会		出席
8	田代 秀之	相模原市小中学校PTA連絡協議会		出席
9	田所 昌訓	相模原市自治会連合会		出席